

令和 5(2023)年度

学修状況等の把握に関する
アンケート結果における改善策

(短期大学部版)

生活文化学科

幼児教育学科

修文大学

修文大学短期大学部

IR 本部

<短期大学部 生活文化学科>

1. 授業外学習時間について

授業外学習は学生の授業の履修状況から算出すると、1週間あたり20時間以上は必要と考えられる。本調査によると、学生の平均学修時間は4時間から11時間であり、必要時間には遠く及ばず、単位制度の実質化が図られていないことが明らかとなった。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するためには、教育課程編成実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき作成された各科目のシラバスに記された学習課題を必要な時間をかけて、実施する必要がある。

生活文化学科の学生がより目的意識をもって取り組むためには、授業科目における授業外学習を、資格取得と関連付けることが大切だと考えられる。学生からの希望にもあった、サポート体制や学習環境を充実させることで、授業外学習時間の確保を目指したい。さらに、各授業における時間外学習の指示や確認を、非常勤講師を含むすべての科目において確実に実施することを徹底する必要がある。

学習時間について現状で満足している学生が一定数存在することからも、オリエンテーション時には、教員、学生双方に単位制度の実質化と授業外学習について理解するようなガイダンスも、より丁寧に実施する必要がある。

2. 学習のサポートについて

各科目におけるオフィスアワーを充実させ、学生の学びのニーズに応える必要がある。リメディアルにおいても質問を受け付ける時間を設置する。

短大生が使いやすいラーニングコモンズ（自習室）の設置が必要である。

<短期大学部 幼児教育学科>

1. 適正な授業外学習時間の確保について

- ① オリエンテーション時に、授業外学習の重要性を周知する。
- ② オリエンテーション時に、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するためには、各科目のシラバスに記された学習課題を必要な時間をかけて、実施する必要があることを周知する。
- ③ 授業外学習を促すため、科目ごとの適正な課題を準備する。
- ④ 学生ポータルサイト、Google Classroom など WEB 媒体を利用した課題学習の実施を拡大する。そのためにも、学生の PC 購入を強く推奨する。

2. 学習のサポートについて

- ① 学生の学びのニーズに応えられるよう各科目のオフィスアワーを充実させる。また、オフィスアワー利用促進を学生に促す。
- ② 学生が自由に利用できる自習室として、模擬実習室を開放する。
- ③ 保育系サークル活動の発足を勧める。